

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：ITC SUPPLEMENT
製品番号：6051（メーカー略号：CDA）
構成品名：ITC SUPPLEMENT
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品情報部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

酸化性固体：区分 2

健康に対する有害性

急性毒性（経口）：区分 4

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2B

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 2（血液、腎臓）

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性）

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性）：区分 2

水生環境有害性 長期（慢性）：区分 2

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ：酸化性物質

飲み込むと有害

眼刺激

臓器の障害のおそれ（血液、腎臓）

呼吸器への刺激のおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

衣類及び可燃物から遠ざけること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

- 漏出物を回収すること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
 口をすすぐこと。
 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 貯蔵**
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。
- 廃棄**
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
- 特定の物理的及び化学的危険性**
 酸化性がある物質である。有機物、可燃性物質を発火させる恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
塩素酸カリウム	99	3811-04-9	1-229

上記以外の成分：Irgasan, Ticarcillin

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分 塩素酸カリウム

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分 塩素酸カリウム(令和8年4月1日施行)

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分 塩素酸カリウム

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋、保護眼鏡、防じんマスクを着用すること。

適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

大量の水を使用すること。

使ってはならない消火剤

- 粉末、炭酸ガス
- 特有の危険有害性
 - 加熱すると容器が爆発するおそれがある。
 - 火災によって刺激性、毒性または腐食性のガスを発生するおそれがある。
 - 消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
 - 特有の消火方法
 - 消火水の下水への流入を防ぐ。
 - 消火を行う者の保護
 - 消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 - 回収が終わるまで十分な換気を行う。
 - 適切な保護具を着用する。
 - 眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項
 - 環境中に放出してはならない。粉じんが飛散しないようにする。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
 - 粉じんを発生させないように掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。
- 二次災害の防止策
 - 漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 技術的対策
 - (取扱者のばく露防止)
 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 - 皮膚や眼との接触を避けること。
 - (火災・爆発の防止)
 - 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 - 衣類及び可燃物から遠ざけること。
 - 安全取扱注意事項
 - 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 - 接触回避
 - 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 - 衛生対策
 - 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 保管
 - 安全な保管条件
 - 施設して保管すること。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 - 常温で保存すること。直射日光を避けること。可燃性物質、飲食物、動物用飼料から離して保管する。
 - 安全な容器包装材料
 - 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度：データなし
- 許容濃度：データなし
- ばく露防止
- 設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。(防じんマスク)

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：固体

色：白色

臭い：データなし

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：該当なし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

水に対する溶解度：可溶

溶媒に対する溶解度：アルコールにほとんど不溶

n-オクタノール/水分配係数：データなし

蒸気圧：データなし

密度/相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：該当なし

粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

加熱(400℃以上)すると分解し、酸素を放出し支燃性を示す。

化学的安定性

通常取り扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

直射日光、熱、火気、衝撃、摩擦

混触危険物質

強酸、還元性物質、可燃性物質、有機物

危険有害な分解生成物

二酸化塩素

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(塩素酸カリウム)

rat LD50=1870mg/kg (PATTY 5th, 2001)

局所効果

- 皮膚腐食性/刺激性：データなし
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
 - [日本公表根拠データ]
 - (塩素酸カリウム)
 - 眼刺激性 (HSDB, 2002 et al)
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし
- 生殖細胞変異原性：データなし
- 発がん性：データなし
- 催奇形性：データなし
- 生殖毒性：データなし
- 特定標的臓器毒性
 - 特定標的臓器毒性(単回ばく露)
 - [区分2]
 - [日本公表根拠データ]
 - (塩素酸カリウム)
 - 血液、腎臓 (HSDB, 2002)
 - [区分3(気道刺激性)]
 - [日本公表根拠データ]
 - (塩素酸カリウム)
 - 気道刺激性 (SITTIG, 4th, 2002; ICSC, 1998)
 - 特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし
- 誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

- 水生生物に毒性
- 長期継続的影響によって水生生物に毒性

水生環境有害性 短期(急性)

- [日本公表根拠データ]
- (塩素酸カリウム)

藻類 (珪藻) EC50(生長速度)=2.8mg/L/72hr (1.9 mg ClO₃⁻/L/72hr 換算値) (環境リスク評価第11巻, 2013 et al.)

水生環境有害性 長期(慢性)

- [日本公表根拠データ]
- (塩素酸カリウム)

藻類 (ドウナリエラ) NOEC(生長速度)=1.5mg/L/72hr (1mg ClO₃⁻/L/72hr 換算値) (環境リスク評価第11巻, 2013)

水溶解度

- (塩素酸カリウム)
- 7.3 g/100 ml (ICSC, 2013)

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：1485

品名(国連輸送名)：塩素酸カリウム

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：5.1

容器等級：II

指針番号：140

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質(該当/非該当)：該当

国内規制がある場合の規制情報

毒劇法、消防法の規定に従う。

酸化性物質類 酸化性物質 分類5 区分5.1

酸化性物質類 酸化性物質 分類5 区分5.1

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

劇物(令第2条) 塩素酸カリウム(99%)(法令番号 18)

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物 塩素酸カリウム(別表第9,令和8年4月1日施行)

名称等を通知すべき危険/有害物 塩素酸カリウム(別表第9,令和8年4月1日施行)

別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係) 危険物・酸化性の物

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)：非該当

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質 塩素酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩(99%)[塩素酸カリウム(99%)]

消防法

危険物 第1類 酸化性固体 塩素酸塩類 危険等級 I(指定数量 50kg)

化審法：非該当

水質汚濁防止法

指定物質 塩素酸カリウム 法令番号 48

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。